



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No92号 2015.7.5

発行責任者
会長 粟野勝彦
編集責任者
世話役代表 上原 栄
TEL.0773-22-7859

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところ—

楽しい第1回サロンさくら 朝顔の壁飾りを作りました

6月20日（土）13時から綾部市ふれあいセンターにおいて、講師に村上紀美子先生を招いて、初めての「サロンさくら」を開きました。参加者は、講師・ヘルパーさんを含み17名の参加で大変盛り上がりました。当初21名あり部屋に入れるかと心配するほど多くの参加申し込みがありました。



初めに村上講師の小学生の時、母親とのやり取りの想い出話がありました。そして村上講師が作られた「布絵」の紹介が数点ありました。特に印象深いのは、母の着物と娘の浴衣そして自分の着物を活かした「菖蒲の布絵」は、とても素晴らしいでした。

準備して頂いていた朝顔の型紙で、両面テープ貼済みのフェルト布に朝顔を書き、サポートの方の手助けを借りながら自分で朝顔を切り、台布に思い思いに貼り付けました。ああでもないこうでもないと言いな

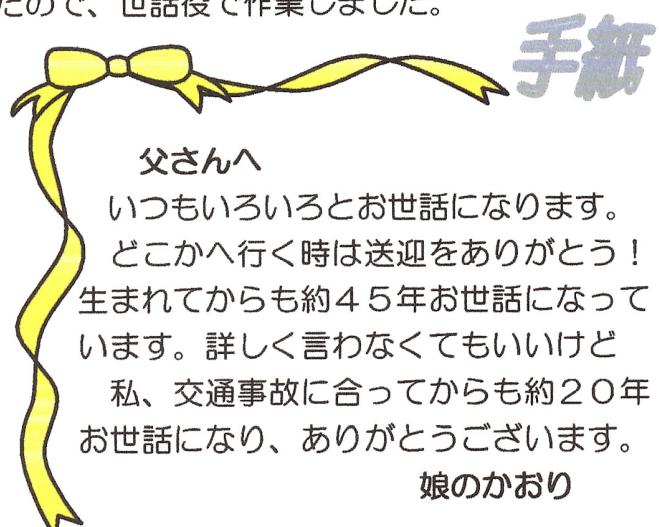
がらも、あちこちから笑いの声が聞こえてきました。

3時半頃には、皆さんきれいなあさがおの壁飾りが出来あがり、出来上がった作品を持って記念撮影をしました。

又、翌6月21日（日）は父の日だったので、女性から父や夫・弟等男性に「ありがとう」の感謝のお手紙・メッセージを書いてもらい、ささやかなプレゼントを添えて渡しました。

香織ちゃんのお手紙には皆さん目頭が熱くなり、涙ポロポロしてしまいました。

感謝の気持ちがあってもなかなか伝えられないで・・・とてもいい機会でした。プレゼントの袋詰めも当事者の方に作ってもらおうと思っていましたが時間押していましたので、世話役で作業しました。



父さんへ

いつもいろいろとお世話になります。

どこかへ行く時は送迎をありがとうございます！

生まれてからも約45年お世話になっていきます。詳しく言わなくてもいいけど

私、交通事故に合ってからも約20年お世話になり、ありがとうございます。

娘のかおり

負担を軽減してください



京都府知事に要望書を提出しました

さくらの会世話役代表 上原 榮、世話役 富永幸雄は、6月23日午前10時半から自由民主党京都府議会議員団控室において、四方源太郎議員、井上重典議員、池田正義議員立会のもと、佐藤康弘障害者支援課長に高次脳機能障害者支援の充実を求める要望書を説明し、さくらの会の当事者・家族の置かれている実情を訴えました。

要望書では、「平成18年6月30日に京都府知事宛てに一度出されている。その後、10年を経過し、さくらの会の当事者・家族は京都まで一人5000円の交通費と片道2時間かけて診察やりハビリに通院してきた。是非、北部にリハビリテーション支援センターの設置と常勤の支援コーディネーターの配置を実現し、当事者・家族の負担を軽減してほしい」と訴えました。

佐藤課長は、要望は分かりました。現在時点では何も決まっていないが、27年度・28年度の中で検討される旨の回答がありました。

また、今後も障害者支援課に要望等を上げて行くことで了承を頂きました。

なお、提出した要望書については、印刷してみなさまにお届けします。

パンフレットを更新しました 「高次脳機能障害をご存じですか？」

前回、2011年に発行していましたが、2015年4月から「さくらの会」の体制が新しくなったことと、相談窓口において名称変更等もありましたので「高次脳機能障害をご存じですか？」というパンフレットを更新しました。

京都府・福知山市・舞鶴市・綾部市等の行政機関及び病院等に配布して、市民の方々への啓発に活用して行きたいと思っています。



思つ
くら
いな
ど
が
出
く
ら
」
に
・
サ
ロ
ン
さ
で
も
「
ミ
ニ
ミ
■
舞
鶴
・
丹
後
出
ま
す。



▼こんな声を聞くと「さくらの会」を応援している私たちも元気が出ます。
▼「今まで、こんな電話もらったことがなかつた」「本当に楽しかったんやで」「よかったです」と世話役同志で喜び合いました。

▼「今まで、こんな電話をお伝えしました。良かつたで。楽しかった。」と言つていいただきました。

▼世話役さん宅に、「サンさくら」があつた日の夜、当事者から「今日は良かつた！楽しかった！ありがとうございました！」と電話があつたと報告を受けました。

「編集後記」